

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

		管理No.	
施設の名称	山形県神室少年自然の家	指定管理者	株式会社ひかり
所在地	最上郡真室川町大字川ノ内字水上山3414-5	県担当課	教育局生涯教育・学習振興課
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日	(電話番号)	(023-630-3343)
検証期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証	
1 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況			
① 管理・運営業務の履行状況	1 施設の運営に関する業務（予定通り履行） 2 施設の維持管理に関する業務（予定通り履行） 3 食堂運営に関する業務（予定通り履行） 4 宿泊利用に関する業務（予定通り履行） 5 指導業務（企画事業実施、受入事業・県主催事業への連携協力ともに予定通り履行） 6 その他の業務（自主事業の実施を含め、予定通り履行）	評価 B	《評価の理由》 ・管理運営について、包括協定の仕様書に基づき、適切に行われている。 ・定期的な所内会議を実施し、定期点検等を適時適切に行うとともに、必要な修繕を実施し、安心安全に利用できる施設の維持管理に努めている。 ・所バスの使用ができなくなったことでキャンセルによる利用者数の減少があったものの、代替手段の確保に尽力し、影響を最小限に抑えるよう努めた。
② 管理・運営上の課題、問題点（改善すべきこと）	◇開館以来40年が経過した当施設では、当然突発的な修理・修繕箇所が発生するが、限られた予算の中で、指定管理者職員の持つ技能を活かしながら工夫して対応している。また、利用者の安全のために定期的な安全点検を行って保守・管理に努めている。 ◇年度途中から老朽化により所バスが使用できなくなったことで、利用者のキャンセル等の影響が出たため、指定管理者として貢献できることとして、会社が所有しているマイクロバスを利用して代行使用する対応をとった。現在もその状況は続いているが、所バスの再配備まで利用者に極力影響がないように努めていく。今後施設の不具合について早い段階で報告・相談するように努める。 ・施設の老朽化に対しては、利用者の安全確保を第一とし、県と指定管理者で協議しながら、適切に必要な修繕を実施していく。	《課題等の原因分析》 ・施設設備の老朽化が進み、要修繕箇所が増加している。	
課題、問題点への今後の対応			
2 利用者からの要望等への対応			
① 意見・要望等及びその対応状況	◇利用者から宿泊室のエアコン設置の要望があり、窓を開ける、扇風機を各部屋に設置する等の対応を行った。 ◇利用者アンケートに要望や改善を要する点があった場合には、朝の打ち合わせや所内会議で県側と共有し、対応にあたった。	評価 A	《評価の理由》 ・利用者からの意見・要望を把握し、所内で共有の上、対応可能なものから順次改善している。また、改善が困難な場合についても、可能な範囲で対応している。
意見・要望等への今後の対応	・今後も継続して利用者アンケート等を実施し、利用者の意見・要望の把握に努めていただきたい。 ・把握した利用者ニーズについては、可能な限り事業実施や施設運営に反映し、利用者の満足度向上に努めていただく。		
3 指定管理者制度活用の効果			
① サービスの向上	◇令和7年度の利用者アンケート結果では、「職員の対応」については回答のあった82団体のうち、81団体が「満足」、1団体が「概ね満足」であり、「施設」については回答のあった78団体のうち72団体が「満足」、5団体が「概ね満足」だった。コンセプトである「美しく安全なフィールド」の保全に努めるとともに、利用当日だけでなく、問い合わせ時の電話対応、ガイドセミナーや下見を含めて、丁寧な案内と事前説明を心掛けた。 ◇企画事業については、県教育委員会の示す第7次教育振興計画と所長からの運営方針に基づいたねらいを明確にして実施した。また、参加者の申込状況やアンケート結果等から満足度やニーズを検証し、精選を図りつつプログラムの質の向上に努めた。	評価 A	《評価の理由》 ・職員のきめ細やかで丁寧な対応により、職員の対応への満足度は、非常に高評価を得ている。 ・参加者のニーズを把握し、より充実した企画事業の実施に努めている。
② 経費の節減	◇光熱水費が高騰している状況を踏まえ、朝の打ち合わせや所内会議で光熱費の使用状況、ポイラー稼働計画等を示し職員のコスト削減意識を高めてきた。 ◇企画事業の要項配布について、大量の紙媒体の印刷、配布にかかる費用を考え、職員が直接学校を回って配布する、ホームページやインスタグラムを活用する、電子メールによる配付をする等の工夫を行った。	評価 A	《評価の理由》 ・職員が意識を高く持ち、光熱費の削減に努めている。 ・SNSを積極的に活用するなど広報方法を工夫し、経費の削減に努めている。

③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	◇「全ての世代の人がじぶん時間を楽しむ場所づくり」というコンセプトをもとに、地元の老人クラブと子育て世代の親子が、輪投げや調理活動、ものづくり等を通して世代間交流を促進させ、生涯学習の拠点としての当施設の役割の発展に資することを期して企画事業「ふれあいミーティング」を実施した。大変好評で、地元の方に当施設の存在価値やよさをアピールすることができた。 ◇当施設のボランティア団体「里山遊び倶楽部」と連携して、施設内の下草刈り、間伐作業等をお願いしている。 ◇給食業務において、繁忙期を中心にパート職員をお願いすることで地元民の雇用につながっている。	評 価 A	《評価の理由》 ・地域団体との関係性を活かして事業実施や施設整備を行い、地域の活性化に寄与しているとともに、施設としても恩恵を受け、施設運営の一助となっている。 ・繁忙期等にパート職員を雇うことで、地域の雇用の確保と施設の安定運営につなげている。
総合的な評価	・施設の管理運営は、県職員と指定管理者の定期的な意見交換等、良好な連携・協力体制により、事業の見直しや利用者の安全・安心な施設の環境整備など、適時適切に対応がなされている。 ・また、ホームページの適時更新やSNSの活用など広報活動にも注力し、利用者数の拡大に尽力している。 ・今後も指定管理者のアイデアを活かした事業展開、利便性向上を図る設備改修及び利用者の要望に対する迅速な対応等に努めていただき、更なる利用者促進に努めていただきたい。		

【評価指標】

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
- B : 概ね適正に実施されている。
- C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
- D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。